

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 8 月 3 日 (2006.8.3)

【公表番号】特表 2005-533644 (P2005-533644A)

【公表日】平成 17 年 11 月 10 日 (2005.11.10)

【年通号数】公開・登録公報 2005-044

【出願番号】特願 2004-524516 (P2004-524516)

【国際特許分類】

B 0 1 D 39/16 (2006.01)

A 6 1 M 16/06 (2006.01)

A 6 2 B 18/02 (2006.01)

B 0 1 D 39/00 (2006.01)

B 0 1 D 39/14 (2006.01)

B 0 3 C 3/28 (2006.01)

D 0 4 H 1/42 (2006.01)

D 0 4 H 1/54 (2006.01)

D 0 4 H 3/16 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 39/16 A

A 6 1 M 16/06 A

A 6 2 B 18/02 B

B 0 1 D 39/00 B

B 0 1 D 39/14 E

B 0 3 C 3/28

D 0 4 H 1/42 X

D 0 4 H 1/54 Q

D 0 4 H 3/16

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

サーマルボンドされたステープルファイバーと、サーマルボンドされていない帯電したマイクロファイバーとを含有する多孔性成形ウェブを含むフィルタ要素であって、ファイバー交点で少なくとも部分的に前記ステープルファイバー間のボンドにより、前記多孔性成形ウェブが成形構造に保持されているフィルタ要素。

【請求項 2】

前記多孔性成形ウェブが、約 30 ～ 70 重量パーセントのサーマルボンド可能なステープルファイバーと、約 30 ～ 70 重量パーセントのサーマルボンド不可能なマイクロファイバーとを含有する、請求項 1 に記載のフィルタ要素。

【請求項 3】

前記多孔性成形ウェブが、重量基準でステープルファイバーよりマイクロファイバーを多く含有する、請求項 1 に記載のフィルタ要素。

【請求項 4】

前記ステーブルファイバーの長さが 0 . 3 m 未満である、請求項 1 に記載のフィルタ要素。

【請求項 5】

サーマルボンド可能なステーブルファイバーと帯電したサーマルボンドされていないマイクロファイバーとを含む予備成形繊維状ウェブを提供するステップと、

前記繊維状ウェブを目的の形状へとサーマルボンド可能なステーブルファイバーが熱的にボンドされてファイバー交点でボンドを示すように成形するステップと、
を含むフィルタ要素の製造方法。

【請求項 6】

前記予備成形ウェブのソリディティが約 5 ~ 3 0 パーセントである、請求項 5 に記載の方法。